



2021年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年2月8日

上場会社名 株式会社構造計画研究所 上場取引所 東
 コード番号 4748 URL <https://www.kke.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 服部 正太
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役 (氏名) 荒木 秀朗 TEL 03-5342-1142
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 2021年3月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第2四半期の業績（2020年7月1日～2020年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	4,974	9.2	△72	—	△14	—	2	—
2020年6月期第2四半期	4,554	△1.2	△301	—	△327	—	△249	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第2四半期	0.46	—
2020年6月期第2四半期	△48.67	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第2四半期	14,160	5,891	41.6
2020年6月期	14,932	6,264	42.0

(参考) 自己資本 2021年6月期第2四半期 5,891百万円 2020年6月期 6,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	20.00	20.00	20.00	60.00	120.00
2021年6月期	20.00	20.00			
2021年6月期（予想）			—	—	100.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2020年6月期期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 記念配当 20円00銭

※2021年6月期（予想）につきましては、合計で100円00銭としており、各四半期毎に配当を行うこととしておりますが、第3四半期以降の支払額については未定であり、決定次第ご報告いたします。

3. 2021年6月期の業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	△5.5	1,500	△19.1	1,470	△18.2	1,000	△17.0	200.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期2 Q	5,500,000株	2020年6月期	5,500,000株
② 期末自己株式数	2021年6月期2 Q	350,388株	2020年6月期	342,311株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期2 Q	5,170,963株	2020年6月期2 Q	5,135,427株

(注) 2018年ESOP信託及び2020年ESOP信託、2017年役員向け株式給付信託が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(持分法損益等)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、社会とともに目指す未来像・方向性としてソート (Thought) 「Innovating for a Wise Future」を掲げております。ここには、「工学知」をベースにした有益な技術を社会に普及させることで、より賢慮にみちた未来社会を創出していきたいという思いを込めております。「大学、研究機関と実業界をブリッジする」という創業以来の経営理念や、「Professional Design & Engineering Firm」のミッションを追求しながら、将来に向けた新たな価値創造を、当社を巡るステークホルダーの方々と共有いたします。また当社は、提供するサービスやプロジェクトに対して組織的な品質確保に取り組んでおり、2010年代初頭から現在にかけて業績を回復してまいりましたが、今後も着実な業績達成を目指すとともに、中長期的な視点から組織の質の向上を目指し、所員が研鑽を深められるよう努めてまいります。

当第2四半期累計期間の当社の経営成績につきましては、売上高は49億74百万円（前年同期は45億54百万円）、営業損失は72百万円（前年同期は3億1百万円の損失）、経常損失は14百万円（前年同期は3億27百万円の損失）、四半期純利益は2百万円（前年同期は2億49百万円の損失）となりました。

当社の業績として、下半期に決算期を迎える顧客が多いことから、上半期と比較して下半期の売上比率が高い傾向があります。過年度においては、期末売上実績に対して第2四半期累計期間の売上実績が占める割合は3割台で推移しております。当年度におきましては、通期の売上業績予想に対して当第2四半期累計期間の売上高が占める割合は39.2%となっております。

当第2四半期累計期間における受注高及び受注残高に関しては、前事業年度から繰り越された受注残高に加え、前年同四半期会計期間を上回る31億82百万円（前年同期は29億71百万円）の受注を獲得したことで、77億71百万円（前年同期は85億35百万円）の受注残高を確保しております。上半期に受注した案件を下半期に着実に売上計上していくとともに、既存顧客を中心とした受注獲得に努め、通期での計画達成を目指してまいります。

各報告セグメントに関しては、2. (4) 四半期財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）Ⅱ当第2四半期累計期間（自 2020年7月1日 至 2020年12月31日）もご参照ください。

当第2四半期累計期間の報告セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(エンジニアリングコンサルティング)

当第2四半期累計期間においては、対面業界におけるシステム開発での投資意欲が引き続き旺盛な状況のため、住宅メーカー向けシステム開発業務、建設・製造業向けシステム開発業務が堅調に推移しております。また、構造設計コンサルティング業務も引き続き堅調に推移しております。その結果、当第2四半期累計期間の売上高は32億78百万円（前年同期は30億90百万円）、売上総利益は18億73百万円（前年同期は18億54百万円）となり、通期の見通しに沿って順調に推移しております。なお、受注残高につきましては、68億13百万円（前年同期は75億18百万円）となっております。

(プロダクツサービス)

当第2四半期累計期間においては、米国Twillio, Inc. のクラウドベースメール配信サービスや米国LockState, Inc. の入退室管理クラウドサービスが順調に販売を拡大しました。また、設計者向けCAEソフト、粒子法流体解析ソフトの販売が堅調に推移しました。その結果、当第2四半期累計期間の売上高は16億96百万円（前年同期は14億64百万円）、売上総利益は7億14百万円（前年同期は5億46百万円）となりました。なお、受注残高につきましては、9億58百万円（前年同期は10億17百万円）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて16.5%減少し、48億62百万円となりました。これは、主に現金及び預金が13億86百万円、受取手形及び売掛金が3億60百万円減少する一方、仕掛品が6億23百万円、前渡金が1億26百万円増加したことによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて2.1%増加し、92億98百万円となりました。これは主に投資有価証券が2億31百万円増加する一方、土地が63百万円減少したことによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて5.2%減少し、141億60百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて24.1%減少し、34億円となりました。これは、主に未払費用が5億45百万円、その他に含まれる未払消費税等が3億21百万円、未払法人税等が2億87百万円減少する一方、短期借入金が3億60百万円増加したことによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて16.4%増加し、48億68百万円となりました。これは、主に長期借入金が6億40百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて4.6%減少し、82億69百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて6.0%減少し、58億91百万円となりました。これは、主に利益剰余金が4億15百万円減少し、自己株式が1億86百万円増加したことによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、6億27百万円（前年同四半期比3億61百万円減少）となりました。

当第2四半期累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の減少は15億84百万円（前年同四半期比10億31百万円の支出増）となりました。主な要因は、たな卸資産の増加額6億28百万円、未払費用の減少額5億45百万円、賞与引当金の増加額3億50百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は1億72百万円（前年同四半期比1億48百万円の支出減）となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出1億87百万円、有形固定資産の取得による支出43百万円、無形固定資産の取得による支出39百万円、有形固定資産の売却による収入85百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の増加は3億69百万円（前年同四半期比1億41百万円の収入減）となりました。主な要因は、資金の流入では長期借入による収入9億5百万円、自己株式の処分による収入7億74百万円、資金の流出では自己株式の取得による支出7億75百万円、配当金の支払額4億17百万円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期の業績予想につきましては、2020年8月11日に公表いたしました通期業績予想の数値から変更はございません。今後、通期業績予想の修正の必要が生じた場合には、東京証券取引所の適時開示規則に基づき、速やかにご報告させていただきます。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,014,232	627,416
受取手形及び売掛金	1,952,397	1,591,657
半製品	144,340	148,683
仕掛品	678,208	1,302,191
前渡金	278,643	405,190
前払費用	580,874	560,633
その他	219,971	269,498
貸倒引当金	△44,533	△43,227
流動資産合計	5,824,136	4,862,042
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,710,179	1,719,776
土地	3,267,401	3,204,301
その他(純額)	141,810	136,838
有形固定資産合計	5,119,390	5,060,915
無形固定資産		
ソフトウェア	372,390	351,304
その他	57,986	42,695
無形固定資産合計	430,377	394,000
投資その他の資産		
投資有価証券	1,831,165	2,062,407
その他	1,730,835	1,785,318
貸倒引当金	△3,757	△3,757
投資その他の資産合計	3,558,243	3,843,968
固定資産合計	9,108,011	9,298,884
資産合計	14,932,147	14,160,927
負債の部		
流動負債		
買掛金	282,458	270,382
短期借入金	—	360,000
1年内返済予定の長期借入金	694,332	544,332
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払金	560,640	377,565
未払費用	748,861	202,999
前受金	1,101,182	991,011
賞与引当金	—	350,251
役員賞与引当金	—	45,292
その他	995,716	158,704
流動負債合計	4,483,191	3,400,539

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年12月31日)
固定負債		
長期借入金	1,637,839	2,278,173
社債	250,000	200,000
株式報酬引当金	93,561	114,598
退職給付引当金	2,066,986	2,154,888
役員退職慰労引当金	40,000	20,540
資産除去債務	83,583	97,567
その他	12,130	3,116
固定負債合計	4,184,101	4,868,883
負債合計	8,667,292	8,269,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,010,200	1,010,200
資本剰余金	1,159,926	1,325,209
利益剰余金	4,760,673	4,345,431
自己株式	△671,629	△857,799
株主資本合計	6,259,169	5,823,041
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,685	68,462
評価・換算差額等合計	5,685	68,462
純資産合計	6,264,855	5,891,504
負債純資産合計	14,932,147	14,160,927

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
売上高	4,554,589	4,974,502
売上原価	2,153,974	2,386,095
売上総利益	2,400,614	2,588,406
販売費及び一般管理費	2,701,934	2,660,742
営業損失(△)	△301,320	△72,335
営業外収益		
受取利息	11	7
有価証券利息	1,462	8,813
受取配当金	1,528	1,531
投資有価証券運用益	-	59,347
仕入割引	2,168	-
その他	4,704	5,315
営業外収益合計	9,875	75,014
営業外費用		
支払利息	8,298	11,617
社債利息	1,082	837
コミットメントフィー	4,927	4,929
投資有価証券運用損	17,434	-
その他	4,297	270
営業外費用合計	36,040	17,654
経常損失(△)	△327,484	△14,975
特別利益		
固定資産売却益	-	20,150
投資有価証券売却益	-	5,918
特別利益合計	-	26,068
特別損失		
固定資産除却損	325	2,184
特別功労金	-	65,000
会員権評価損	12,698	-
特別損失合計	13,024	67,184
税引前四半期純損失(△)	△340,509	△56,091
法人税、住民税及び事業税	4,066	4,298
法人税等調整額	△94,643	△62,815
法人税等合計	△90,576	△58,516
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△249,932	2,424

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△340,509	△56,091
減価償却費	132,775	145,419
特別功労金	-	65,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	56,592	87,901
受注損失引当金の増減額(△は減少)	3,916	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	410,135	350,251
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	68,988	45,292
受取利息及び受取配当金	△3,003	△10,352
支払利息及び社債利息	9,380	12,454
売上債権の増減額(△は増加)	1,188,402	250,569
たな卸資産の増減額(△は増加)	△780,384	△628,325
前払費用の増減額(△は増加)	△28,106	6,009
仕入債務の増減額(△は減少)	△153,855	△118,760
未払金の増減額(△は減少)	△23,250	△221,864
未払費用の増減額(△は減少)	△682,918	△545,841
その他	△206,226	△704,390
小計	△348,062	△1,322,728
利息及び配当金の受取額	21,232	91,149
利息の支払額	△9,930	△12,196
特別功労金の支払額	-	△65,000
法人税等の支払額	△216,711	△275,948
営業活動によるキャッシュ・フロー	△553,472	△1,584,724
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,652	△43,026
有形固定資産の売却による収入	-	85,378
無形固定資産の取得による支出	△48,977	△39,463
投資有価証券の取得による支出	△50,000	△187,020
投資有価証券の売却による収入	-	21,918
保険積立金の積立による支出	△7,971	△7,971
その他	△196,624	△1,996
投資活動によるキャッシュ・フロー	△320,226	△172,181
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,200,000	360,000
長期借入れによる収入	-	905,000
長期借入金の返済による支出	△583,956	△414,666
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
自己株式の取得による支出	△151	△775,323
自己株式の処分による収入	309,524	774,439
配当金の支払額	△348,050	△417,309
リース債務の返済による支出	△16,468	△12,248
財務活動によるキャッシュ・フロー	510,898	369,892
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	197
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△362,790	△1,386,816
現金及び現金同等物の期首残高	1,351,550	2,014,232
現金及び現金同等物の四半期末残高	988,760	627,416

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症は、経済及び企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の拡がり方や収束時期等を正確に予測することは困難であるものの、現時点で入手可能な情報等に基づき、会計上の見積りにおいては新型コロナウイルス感染症による大きな影響はないものとして当第2四半期累計期間の見積りを行っております。なお、当該見積りは現時点で入手可能な情報等に基づくものであり、新型コロナウイルス感染症の収束時期やその他の状況の経過により影響が変化した場合には、上記の見積りの結果に影響し、今後の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	エンジニアリング コンサルティング	プロダクツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,090,368	1,464,220	4,554,589	-	4,554,589
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,090,368	1,464,220	4,554,589	-	4,554,589
セグメント利益	866,270	119,161	985,432	△1,286,752	△301,320

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,286,752千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自2020年7月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	エンジニアリング コンサルティング	プロダクツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,278,295	1,696,206	4,974,502	-	4,974,502
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,278,295	1,696,206	4,974,502	-	4,974,502
セグメント利益	919,160	300,958	1,220,118	△1,292,454	△72,335

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,292,454千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年12月31日)
関連会社に対する投資の金額	286,545千円	286,545千円
持分法を適用した場合の投資の金額	238,359千円	223,596千円

	前第2四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年7月1日 至2020年12月31日)
持分法を適用した場合の投資損失(△)の金額	△50,752千円	△14,762千円

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	2,009,483	100.1
プロダクツサービス	1,000,594	108.6
合計	3,010,078	102.8

(注) 1. 金額は総製造費用より他勘定振替高を控除した金額によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	4,784,899	88.4	6,813,292	90.6
プロダクツサービス	1,534,020	109.7	958,203	94.2
合計	6,318,920	92.8	7,771,496	91.0

(注) 1. 金額は販売価額によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	3,278,295	106.1
プロダクツサービス	1,696,206	115.8
合計	4,974,502	109.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。